

# 千代田中学校だより 自ら一步前へ

一人ひとりが輝き  
笑顔と感動があふれる学校

平成30年4月26日  
第3号  
校長 山田正彦

## 技と引き継ぐ魂

体育祭モードが徐々に高まってきましたね。結団式では、生徒会長から今年度の体育祭テーマが発表されました。テーマは「一蓮托生」です。どちらの組も、「勝利」という目標に向け、心を一つに精一杯力を出し切る。競技も応援も全力でやる。当日はもちろんですが、練習の時からその意識をもつ。そうすることで、各組のメンバーの、さらには千代中生全員の絆を深めていこうという思いが込められています。

それぞれの組の団長も、ことばは短かったです。強い思いをストレートに伝えていました。

余談ですが、赤・青どちらの組になるかを「くじ」で決めていたのが、ユニークだなんて思いました。

結団式で話したように、ほんとに私は千代田中学校の体育祭を楽しみにしています。二百数十人によるはつらつとした入場行進。誰一人手を抜くことのない全力競技。テキパキと係りの仕事をする姿。ラストの全校生徒による千代中ソーランは圧巻です。そんなことを話しておられた先生がおられました。そのことばを今年は実感できるのかと考えたら、期待感はさらに膨らみます。



そして、「千代中ソーラン」で私がすごいなって思ったのは、3年生の生



徒が中心になって、後輩達を指導するところです。「ソーラン隊」の舞は入学式に見せてもらいましたが、1・3年生の合同練習では、3年生全員が先ずは見本となる「ソーラン」を1年生に見せていました。3年生全員がいきなりあんなに舞えるんだとびっくりしました。千代田中学校のこれまたよいところに、そういった演技を引き継ぐと同時に、先輩の姿で「千代中魂」をも引き継いでいるんだなと思いながら、練習風景を見させてもらいました。

## 実践目標は小刻みに

その体育祭の前に新入生歓迎遠足があります。先日体育館で各縦割り班に分かれて「Being」を行いました。新入生歓迎遠足ですから、一番の目標は「新入生をもてなす」ということになります。それを達成するためには、自分達の班はどんな目標立てるのか。さらに、その班目標を達成するためには、自分はどんなことを頑張るのかを、カードに書いていきます。一つ一つの目標をつなげていくことで、一番大きな目標が達成できるのです。つまり、全員が主役ということになりますね。同じ取組を体育祭でもすでに



先ずは、新入生歓迎遠足で一番大きな

目標の達成に関わって、自分自身が決めた目標について自分がどうだったかを振り返り、その振り返りを体育祭につなげていきましょう。できたことは自信をもって次の活動でさらに伸ばす。今ひとつだったなと思えば、目標を少し小さくして具体的な手立てを自分なりに考えてみる。行事が終わればそこで終わりではないのです。行事はそれぞれ違いますが、君たち一人ひとりの成長はつながっていくのです。

ここでも余談ですが、カードに書かれた決意が、誰もがしっかりと書かれていることにもすごいなと感じました。「書く力」もしっかりと伸ばしていきましょう。